持続的なパラアート地域交流を実現するために

地域の皆様・アーティスト・福祉事業者が一堂に会することから始める

パラアート地域交流を実現し、地域の繋がりが様々な財産となって培われ、かつ持続的なものとするためには、何よりも関心ある方々が一堂に会することから始めるのが肝要です。とは言え、いきなり集まるということも簡単ではありません。
ソーシャル・アーティスト・ネットワークが、これまでの経験で培ったものをフルに活用させていただき、各地域の皆様の状況に合わせ、持続的なパラアート地域交流の実現をお手伝い（下図をご参照）させていただけましたら幸いです。

「パラアート地域交流」の関心者を繋げる

- 地域の皆様
- アーティスト
- 福祉事業者

「パラアート地域交流」を知る・活かす

- パラアートコーディネーター入門講座
- アーティストのためのソーシャル講座

「パラアート地域交流」を実施する

- クラブ活動
- サロン
- コンサート
- ワークショップ

地域・アーティスト・福祉事業者の皆様、お気軽にお問合せ下さい

一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク

Social Artist Network
Art brings people close to people

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2−4−5 杉商ビル8F
☎ 03-6740-1650 🖷 03-5283-8440
✉ info@socialartists.net http://www.socialartists.net

公益財団法人 川崎市文化財団 令和4年度パラアート推進公募型事業委託
文化庁 令和4年度障害者等による文化芸術活動推進事業

持続的なパラアート地域交流を目指して

～「コンサート奏 NEXT」開催で得たこと ～

当パンフレットは下記URL（及びQRコード）のドキュメンタリー動画の概要とそれに基づいた説明資料として制作されました

https://www.kanade.art/paranext

奏 かなで

一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク

Social Artist Network
Art brings people close to people

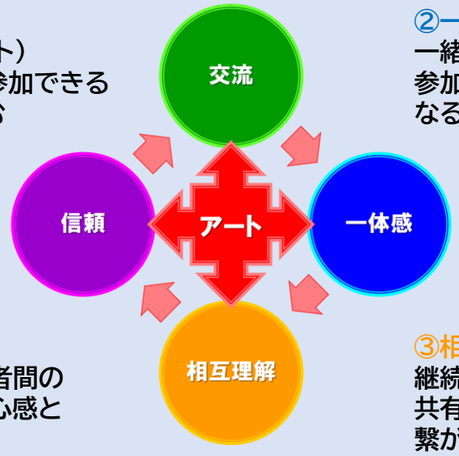
パラアート地域交流から得られたこと

アート活動によって育まれた障害の有無を超えた地域交流

2012年4月より、川崎授産学園とソーシャル・アーティスト・ネットワークが共催で推進してきた音楽交流サロン「奏」。音楽を通じて、障害の有無を超えた地域交流を育み、150回を超える開催となりました。後に、コーラス「奏」（障害の有無を超えたコーラス隊）、コンサート「奏」（年に1度の大規模な地域交流音楽イベント）も誕生し、音楽活動を通じての一体感、相互理解による信頼関係を育む場として、毎回の開催や活動が待ち望まれる地域交流拠点の1つとなりました。

①交流
・共同で楽しめる音楽（アート）
・特別なスキルが無くても参加できる音楽（アート）で交流を育む

②一体感
一緒に活動することによって参加者同士の共感が一体感になる

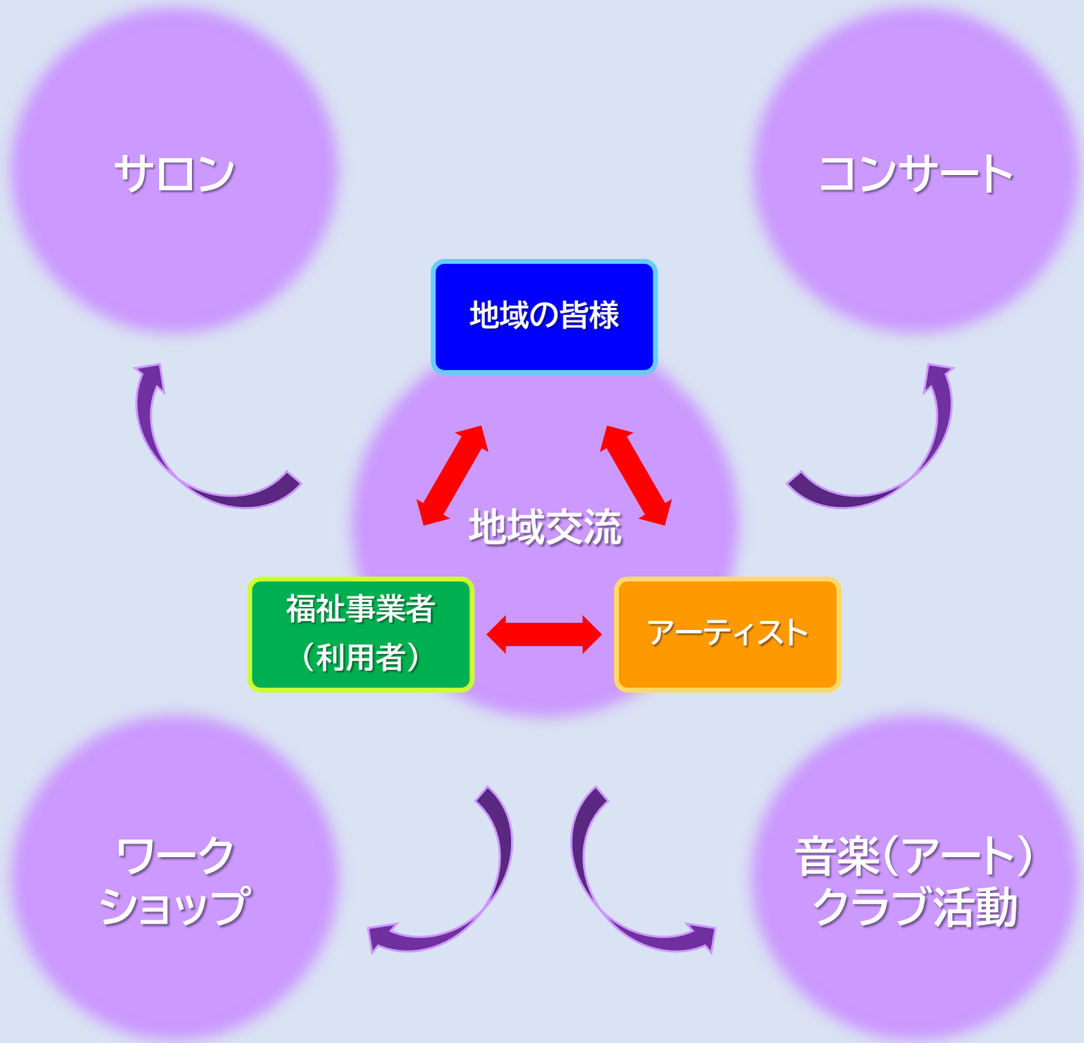


④信頼
活動を重ねることで、参加者間の信頼が生まれ、そこでの安心感と発見が場の継続に繋がる

③相互理解
継続的な活動によって様々な共有が図れ、お互いの理解に繋がる

持続的なパラアート地域交流を目指して

【NEXT】障害の有無を超えた地域交流の観点からアート活動の実施へ

前代未聞のコロナ禍で約3年もの間、「奏」の活動が中止の状態になりました。この間、「奏」に関わってきた人達の生活や仕事の環境も一変してしまいました。活動がストップすると、地域交流が途絶えてしまう事態になることから、今後は、持続的なものとするために、地域交流を土台に音楽（アート）活動を進めていくことになります。

さらには、各地域の皆様にも活用できるよう体系化を図りました。【次頁】